

防ごう 農作業事故



令和3年の農作業による死亡事故は、全国で242件でした。

徳島県でも数件の死亡事故が発生しています。

これまでの事故事例を参考とし、事故予防についてあらためて考えてみましょう。



1 全国の農作業死亡事故発生状況

全国

		H28	H29	H30	R1	R2	R3
事故発生件数		312	304	274	281	270	242
農業機械作業に係る事故		217	221	164	184	186	171
	乗用トラクター	87	92	73	80	81	58
	歩行トラクター	35	28	24	22	26	22
	農業用運搬車	37	26	18	26	15	21
	自脱型コンバイン	7	11	8	9	12	16
	動力防除機	10	6	8	8	9	16
	動力刈払機	10	12	6	7	7	11
	その他	31	36	27	32	36	27
農業用施設作業に係る事故		14	13	13	17	8	7
機械・施設以外の作業に係る事故		81	80	97	80	76	64
性別	男性 (%)	82.4	87.5	82.1	85.8	85.9	87.2
	女性 (%)	17.6	12.5	17.9	14.2	14.1	12.8
65歳以上 (%)		81.4	84.2	86.5	88.3	84.8	84.7

※農林水産省「令和3年に発生した農作業死亡事故の概要」より

2 徳島県の農作業死亡事故発生状況

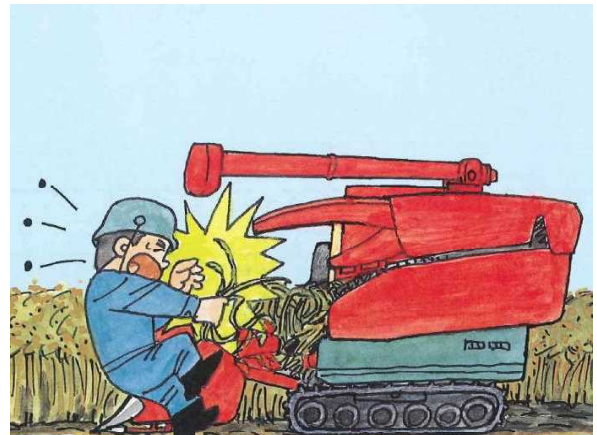
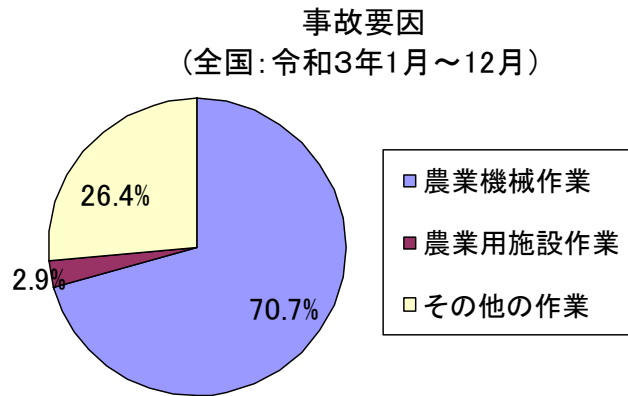
徳島県

		H28	H29	H30	R1	R2	R3
事故発生件数		1	4	3	5	4	3
農業機械作業に係る事故		1	2	2	1	4	3
	乗用トラクター	0	2	0	0	1	0
	歩行トラクター	0	0	0	1	1	0
	農業用運搬車	1	0	1	0	0	0
	自脱型コンバイン	0	0	1	0	1	2
	その他	0	0	0	0	1	1
農業用施設作業に係る事故		0	0	0	0	0	0
機械・施設以外の作業に係る事故		0	2	1	4	0	0
性別	男性 (%)	0	75	100	100	100	100
	女性 (%)	100	25	0	0	0	0
年齢	65歳以上 (%)	80	100	100	100	100	100

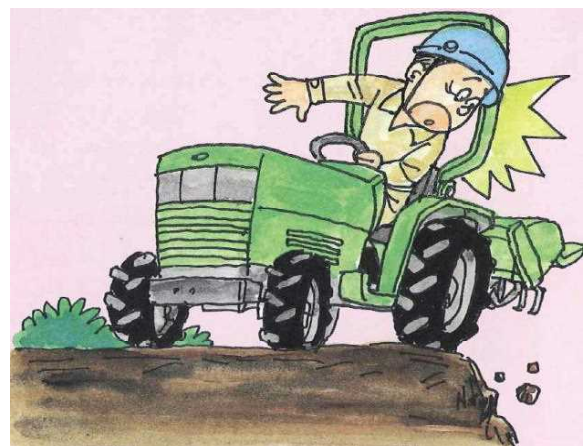
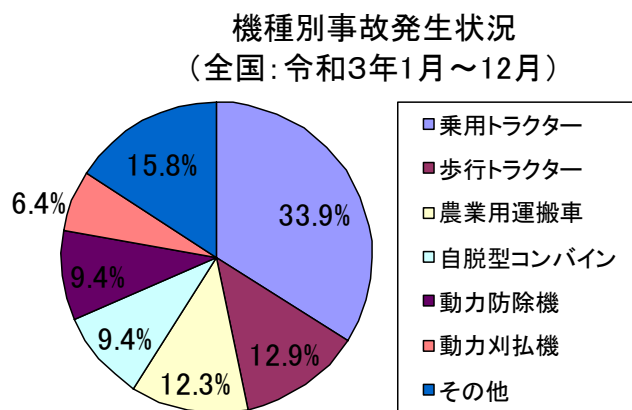
※「農業支援センター調査」より

3 死亡事故の発生状況（全国状況）

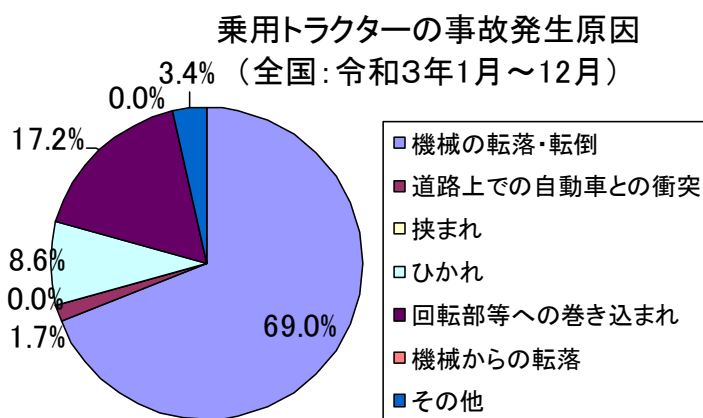
（1）農作業死亡事故の中で、農業機械による死亡事故が全体の約70%を占めています。



（2）機種別では、乗用型トラクターによる事故が最も多く、次いで歩行型トラクター、農業用運搬車の順。



（3）乗用トラクターでは、機械の転落・転倒が65%、次いでひかれ、回転部等への巻き込まれの順。



（4）年齢階層別では、65歳以上の高齢者の事故が全体の約85%を占めています。

4 農作業事故の予防対策

(1) 家族で確認！

○万が一の事故に備えて、家族や作業員みんなで、機械の止め方などについて確認しておきましょう。

○機械作業中は、声の伝達が難しいので、合図を決めておきましょう。

○1人だけの作業は、できるだけ避けましょう。



(2) 適切な作業服を！

○必要に応じて、ヘルメット、安全靴、保護メガネ、手袋などを着用しましょう。

○だぶついた服、腰タオル、エプロンなどは回転部分へ巻き込まれたり操縦装置に引っかかり、事故の原因となります。

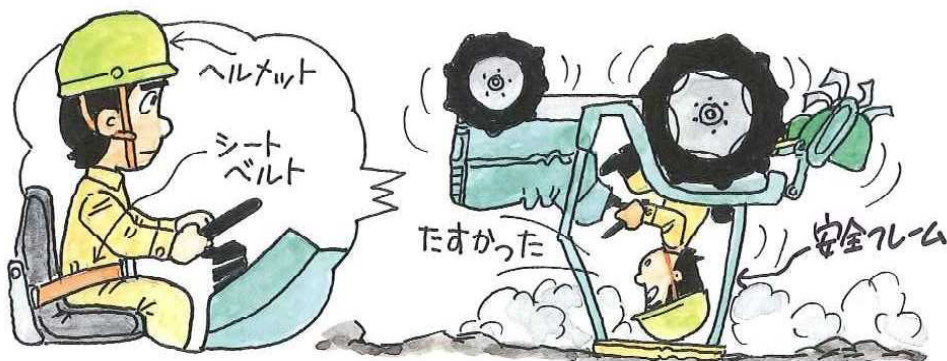


(3) 機械の点検・安全装置！

○機械の整備不良は事故の原因になります。使用前には必ず機械の点検をしましょう。

○転倒・転落による死亡事故防止のため、トラクターには安全フレームや安全キャブを装着しましょう。

○シートベルト、ヘルメットを着用しましょう。



※すべてのイラストは、(社)日本農業機械化協会の許諾を得て使用しています。
「絵で見る農作業安全のための指針」、「農作業事故防止危険予知シート」より
※掲載イラストに係る部分の複製厳禁。

(4) 体調管理！

○農作業中は作業負荷の大きさに応じて定期的に休憩時間を取り、過重労働を避けましょう。